

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年9月4日

【2017年8月26日～2017年9月1日までの推移】

【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。2年国債金利は低下しました。

メイレス財務相が民営化と年金改革の両案が議会で承認される見込みと発言したことや、発表されたGDP(国内総生産)成長率が市場予想を上回ったことなどで、レアルは上昇しました。北朝鮮による地政学リスクが高まる局面がありましたが、ブラジルへの影響は限定的となりました。

国立経済社会開発銀行(BNDES)の融資に新しい金利を導入する法案が、国会で審議されており下院を通過しました。また、社会保障改革法案に関して政府与党関係者が議会の承認を得るために年金改革の規模を縮小した改革案を計画していると報じられています。

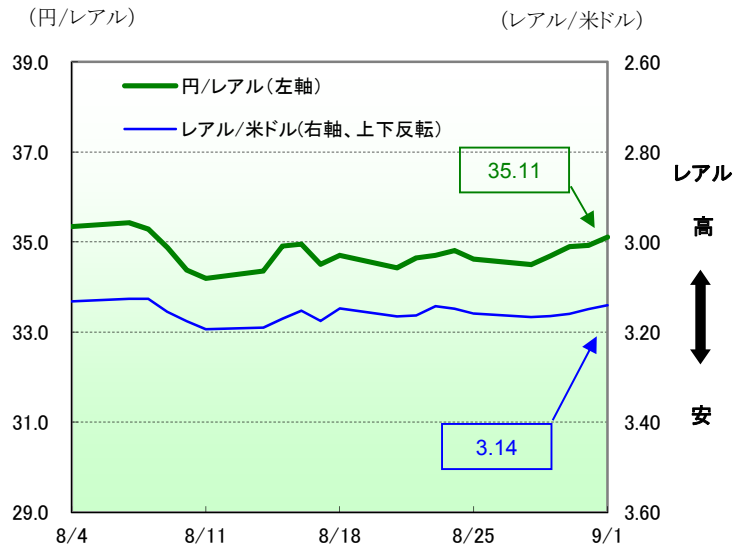
【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標の発表があります。インフレ率の上昇は抑制されることが見込まれています。また今週はCopom(金融政策委員会)が開催され、政策金利が発表されます。市場では利下げが予想されていますが、今後の金融政策を占う上で、利下げ幅や声明文の内容に注目が集まります。

テメル大統領の汚職疑惑はくすぶっており、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の審議・採決が先送りされる懸念があります。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

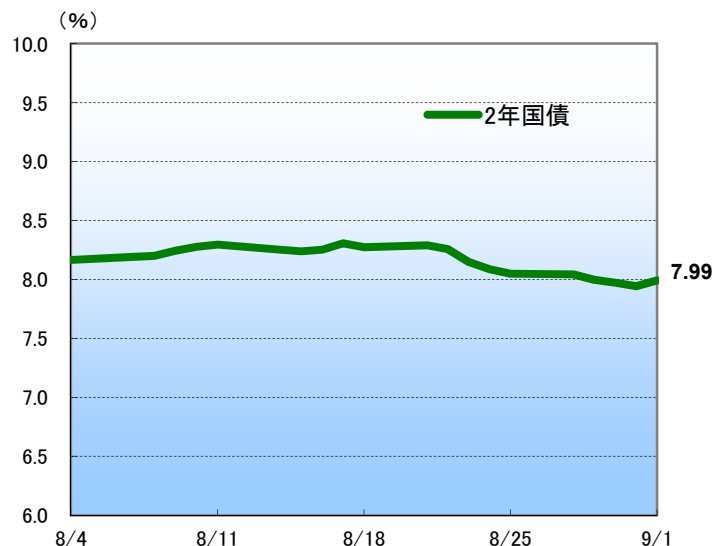
政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年8月4日～2017年9月1日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年8月4日～2017年9月1日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>